

Network 通信 No.62

千葉市図書館情報ネットワーク協議会 30周年

令和6年1月に設立から30周年を迎えました。

「協議会設立30周年:「ネットワーク」の大切さ」

会長 吉野 知義

千葉市図書館情報ネットワーク協議会(以下、当協議会)は、平成6(1994)年1月の設立総会から今年で30周年を迎えました。

この間、継続的に様々な活動に取り組み、利用者や地域への貢献につながられたのは、加盟館や関係者各位のたゆまぬご尽力のおかげと存じ、感謝申し上げます。

一口に30年と言っても、平成から令和、20世紀から21世紀と時は移り、その間に多くの社会的な変化が起こってきました。特に1990年代後半からのインターネットの普及、各地で発生した自然災害、そして令和2(2020)年からの新型コロナウイルスの感染拡大は図書館の資料や情報の提供、同時にそれらの利用形態を一変させたと言っても過言ではないでしょう。



さて、当協議会は、千葉市内の公共図書館、大学図書館、専門図書館、学校図書館という、いわゆる館種を超えた図書館で構成される団体です。これらの図書館は、設置母体が異なるだけでなく、サービス対象となる利用者や取り扱う資料にも違いがあり、横断的に組織化されている団体は全国的にもめずらしいと言えます。

私はこの機会に、設立の経緯や30年間の活動を振り返ってみて、当協議会の名称に「ネットワーク」という言葉が冠されたのは、とても大きな意義があったと感じています。

設立当初は、目録の電子化は進みつつもカード目録も健在で、インターネットも一般には普及しておらず現在のように手軽に資料検索ができる時代ではありませんでした。そのような時代背景で、中央図書館が今の建物に新築されることをきっかけに、図書資料の配送ネットワークを中心とした市内図書館の相互協力体制が必要とされていました。加えて、加盟館の間での情報共有、職員を通じた人的交流も謳われていました。

現在、ほとんどの図書館の蔵書はインターネットに公開された検索システム(OPAC)で誰でも自由に確認することができ、必要に応じて取り寄せなどのリクエストなどもできるようになっています。一方で、予算の削減、職員の異動や削減などの問題もあり、図書館職員のスキルの維持・継承が困難となり、人的交流の機会も少なくなってきたと感じます。

これからの図書館活動においては、インターネットというネットワークを通じた情報の利活用はもちろん、職員のスキルアップや図書館の課題解決のための人的交流というネットワークの重要性が増してきていると考えています。そのため、当協議会においては年2回の研修会を中心に、これらの話題を取り上げ、内外の講師のお話を聞き、知的・人的な出会いの場づくりを目指したいと思っています。

最後に、ぜひこの機会に当協議会のWebサイトに公開されている会報「Network 通信」のバックナンバー、特に「20周年記念 No.45 合併号」にお目通しいただき、これからの当協議会や千葉市の図書館のありかたについて思いを巡らせていただければ幸いです。

令和5年度 30 周年記念講演会 報告

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、千葉市内の情報提供機関がお互いに連携し、市民に対する情報提供をより充実させることを目的に平成6年に発足し、令和6年1月で30周年を迎えました。この間、相互貸借の円滑な実施や機関の枠を超えた情報交流や研修会などを行い、市内の情報ネットワークを支える組織として機能してきました。これは、公共図書館だけでなく、大学図書館や学校図書館そして専門図書館を横につなぐ組織として、先進的な取り組みを行ってきた成果といえます。

現在、ICTの進展によって、情報の流通は30年前に比べれば格段の進歩を遂げていますが、図書館間のネットワークは情報の流通だけではありません。人的な交流の場を確保することも大切な要素となってきました。

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、次の時代に向けて新たな旅立ちに入りますが、ここで図書館におけるネットワークの意義を再確認し、新たな時代のネットワークのあり方、方向性を見出すために今回の講演会を企画しました。

1. 日 時 令和5年11月28日(火) 14時00分～17時30分

2. 開催方法 対面開催

3. 開催場所 千葉市生涯学習センター 地下1階 小ホール(千葉市中央区弁天3-7-7)

4. 内 容

(1) 開催挨拶

(2) 30周年記念 講演会 テーマ:「地域活性化、連携、そして人脈の必要性」

講 師: 千葉経済大学短期大学部 名誉教授 齊藤誠一氏

(3) 動 画

テーマ:「千葉市図書館情報ネットワーク協議会の30年」

(4) 30周年記念 座談会

テーマ:「千葉市図書館情報ネットワーク協議会の今後について」

コーディネーター: 吉野知義氏(当協議会会長・

神田外語大学附属図書館ゼネラルマネージャー)

登壇者: 齊藤誠一氏(千葉経済大学短期大学部 名誉教授)

高橋理枝氏(当協議会理事・

日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館課長)

佐久間仁央氏(当協議会事務局長・千葉市中央図書館長)



講師: 齊藤誠一氏



吉野知義氏

齊藤誠一氏

高橋理枝氏

佐久間仁央氏

令和5年度第1回研修会 報告

令和5年度第1回研修会をZoomによるオンライン形式で開催しました。

今回は、「札幌市図書・情報館の課題解決型サービス ～司書の工夫が生きる図書館づくり」をテーマに、同館のコンセプト作りから初代館長まで手がけ、総務省地域情報化アドバイザーとしても活動される浅野隆夫氏を講師に迎え、経験から、時代のニーズに最適化した図書館づくりをどう進めたか、図書館員が生き生きと働き、利用者も満足できる図書館づくりに取り組んでいくために大切なことは何かを講演いただきました。豊富な知識と札幌市図書・情報館での実体験に基づいた具体的な講義で、新たな発見のあるとても有意義な研修会となりました。

1. 日 時 令和5年7月19日(水) 10時00分～11時30分
2. 開催方法 Zoomによるオンライン開催
3. テーマ 「札幌市図書・情報館の課題解決型サービス～司書の工夫が生きる図書館づくり」
4. 講師 浅野隆夫氏
(札幌市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト担当部長
(兼 札幌市中央図書館 調整担当部長))
5. 講師紹介

札幌市役所のWebリニューアルや情報化拠点施設の建設など地域情報化推進事業を行った後、平成22年に図書館へ異動、図書館システムの全面リニューアルと同時に平成26年に「札幌市電子図書館」の立ち上げを行う。その後、課題解決型図書館「札幌市図書・情報館」のコンセプト作りから着手し、平成30年の開館と同時に初代館長に就任。この「札幌市図書・情報館」は令和元年にLibrary of the Year(ライブラリー・オブ・ザ・イヤー)2019の「大賞」と「オーディエンス賞」をダブル受賞。その後、中央図書館で利用サービス課長を務めたのち、令和4年10月からは新たな図書館の導入を検討するべく、調整担当部長に就任。令和5年からはまちづくりへのポップカルチャーの活用を手掛けていく札幌市役所の政策企画部プロジェクト担当部長に就任し、引き続き札幌市教育委員会中央図書館調整担当部長も兼務している。

また、令和2年からは総務省地域情報化アドバイザーとして、神戸市や広島市、神奈川県などで新しい図書館サービスづくりをサポートしている。

◆研修会「札幌市図書・情報館の課題解決型サービス

～司書の工夫が生きる図書館づくり」の概要について

【目的】

- (1) 時代のニーズに最適化した図書館づくりをどう進めるか。
- (2) 図書館員が生き生きと働き、利用者も満足できる
図書館づくりに取り組んでいくための大切なことは何か。

【進行】

- (1)開会挨拶・講師紹介(吉野会長)
- (2)研修会
- (3)質疑応答・意見交換



講師：浅野隆夫氏

令和5年度第2回研修会 報告

令和5年度第2回研修会を対面とZoomによるオンラインのハイブリッド開催をいたしました。

図書館サービスを充実させて利用者に満足してもらうためには、そこで働く職員が楽しんで仕事をすることが大切です。そのような活気にあふれた元気な図書館にするには何をどのように進めていくかということをご講演いただきました。「当たり前だ、仕方ないと決めつけることから少しでも距離を置く」、「何より、最初に「課題」とか「リスク」ばかり考えないこと。自分たちが使えるリソースは何か」ということを実体験に基づいた具体的な内容をもとに、親しみやすい言葉で講義いただき有意義な研修会となりました。

1. 日 時 令和6年2月21日(水) 15時00分～17時00分
2. 開催方法 対面及びZoomによるオンライン開催
3. テーマ 「図書館の仕事はどうすると楽しくなるのか? 図書館活性化のための作戦」
4. 講師 茂出木理子氏
(東京工業大学 研究・産学連携本部 特命専門員(研究DX担当))

5. 講師紹介

図書館情報大学を卒業後、東京大学、お茶の水女子大学、東京工業大学、東京外国語大学、国立情報学研究所等での勤務を経て、平成29年4月に東京工業大学事務局参事(データマネジメント担当)兼研究推進部情報図書館課長として、附属図書館の運営のほか、研究データ管理や転換契約などにも携わる。令和5年4月より東京工業大学 研究・産学連携本部 特命専門員(研究DX担当)としてご活躍されている。

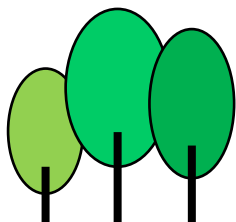
◆研修会「図書館の仕事はどうすると楽しくなるのか? 図書館活性化のための作戦」の概要について

【目的】

図書館サービスを充実させて利用者に満足してもらうためには、そこで働く職員が楽しんで仕事をすることが大切となる。そのような活気にあふれた元気な図書館にするには何をどのように進めていくのか。時代のニーズに最適化した図書館づくりをどう進めるか。

【進行】

- (1)開会挨拶・講師紹介(吉野会長)
- (2)研修会
- (3)質疑応答・意見交換



講師: 茂出木理子氏

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、千葉市内の館種を越えた図書館ネットワークを通じて、情報提供能力を強固にし、図書館サービスの向上を図ると共に、学術研究及び生涯学習の発展に寄与することを目的として、平成6年1月に設立。このNetwork通信は、加盟館の情報交流並びに協議会の活動状況を加盟館利用者等にお知らせすることを目的として、平成10年10月から発行しています。

Network通信 No.62 2024年3月31日発行
千葉市図書館情報ネットワーク協議会事務局：
〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7
千葉市中央図書館内
TEL 043-287-4002 FAX 043-287-4074
千葉市図書館情報ネットワーク協議会
HP: <http://www.ccal.jp/>

